

令和6年度 授業公開

岩手県立大学宮古短期大学部



岩手県立大学宮古短期大学部では、
下記の期間中、一部の講義を公開します。
大学の雰囲気を感じ、実際に学生と一緒に
講義を受けてみませんか？
皆さまのご来学を心よりお待ちしております。

【個別申込み】

期 間：令和6年 7月17日(水)～23日(火)※土日祝日を除く

場 所：岩手県立大学宮古短期大学部 各講義室

時 間 割：裏面の授業公開科目一覧をご覧ください。

対 象 者：高校生、保護者、教員、一般の方など、どなたでも見学いただけます。

申 込 み：原則見学の一週間前までにメール又は電話にてお申し込み下さい。

その際、①見学を希望する授業 ②氏名 ③電話番号 ④参加者区分(高校生、保護者、教員、一般等) ⑤学校名 ⑥学年(高校生のみ) をお知らせください。

申込みメールアドレス：myk_nyukou@ml.iwate-pu.ac.jp

見学当日：講義開始時間前に事務局受付へお越しください。

※都合により時間や教室、講義内容が急遽変更になる可能性がありますので、ご了承願います。

※講義の写真撮影、録音、録画はご遠慮ください。

※37.5℃以上の発熱がある場合及び風邪症状がある場合は見学をお控えいただきますよう、

お願いいたします。手指消毒や手洗い、体温確認等の感染症対策にご協力ください。

※いただいた個人情報は授業公開にのみ使用いたします。

※学校単位での見学も別途 7月23日(火)まで実施します。お問い合わせください。

問い合わせ先： 宮古市河南1-5-1 岩手県立大学宮古短期大学部 事務局

☎ 0193-64-2230 ✉ myk_nyukou@ml.iwate-pu.ac.jp

令和6年度 授業公開科目一覧(個別申し込み)

月/日 (曜日)	時限	科目名	対象 年次	教員名	講義場所
7月17日(水)	2	情報ネットワーク概論	1年次	菊池 護	大講義室
	2	日本経営論	2年次	谷藤 真琴	情報処理演習室2
7月18日(木)	2	経営学入門	1年次	鈴木 将人	大講義室
	3	心理学	1年次	河野 暁子	大講義室
	3	アルゴリズム論	2年次	大志田 憲	情報処理演習室 1
	4	ビジネスゲーム	2年次	谷藤 真琴	多目的講義室
7月19日(金)	2	経営統計学	2年次	和川 央	大講義室
	3	情報リテラシー	1年次	菊池 護	情報処理演習室 2・3
	4	言語表現論	2年次	田中 宣廣	多目的講義室
7月22日(月)	2	地域言語学	1年次	田中 宣廣	大講義室
	3	経済学入門	1年次	雲然 祥子	大講義室
	3	OA 論	2年次	昇高 茂樹	多目的講義室
	4	デジタル回路	2年次	菊池 護	多目的講義室
	5	基礎英語 I (A・B)	1年次	三村 敬之	201 講義室
	5	基礎英語 I (C・D)	1年次	大前 義幸	多目的講義室
	5	観光学概論	2年次	雲然 祥子	大講義室
7月23日(火)	1	資格英語 II (基礎)	2年次	三村 敬之	101 講義室
	1	資格英語 II (応用)	2年次	大前 義幸	203 講義室
	2	コンピュータ概論	1年次	大志田 憲	大講義室
	2	会計学	2年次	松本 安司	多目的講義室
	3	基礎簿記論	1年次	松本 安司	大講義室
	3	システム演習 II	2年次	昇高 茂樹	情報処理演習室 1
	4	経営組織論	2年次	鈴木 将人	大講義室
	5	総合英語 I	2年次	三村 敬之	201 講義室
	5	データベース演習	2年次	菊池 護	情報処理演習室 2

※学校単位での申し込みとなる場合、以下によらず申し込み時の希望に応じて科目を調整します。

※授業概要は添付資料、または岩手県立大学のホームページよりシラバス(授業概要)をご覧ください。

※全 15 回のうち 14 回目の授業となります。

【講義時間】

1時限 8:50~10:20 2時限 10:30~12:00 3時限 13:00~14:30

4時限 14:40~16:10 5時限 16:20~17:50

※ 一部内容が変更となる可能性があります。HP をご確認ください。

HPはこちら



令和6年度授業公開 授業概要

授業科目名(英語名)	情報ネットワーク概論(Introduction to Information network)
担当教員 所属	菊池 護 宮古短期大学部(経営情報学科)
授業のねらい・概要	現在の日本は高齢化や少子化により働き手の不足が深刻な問題となっており、DX(デジタルトランスフォーメーション)推進が行われている。そのDXの1つの技術として、情報ネットワーク技術がある。本講義では、情報ネットワーク技術に関する基礎知識と情報ネットワーク技術の動向について学習する。また現代では、情報ネットワーク技術を活用したデータのやり取りが日常頻繁に行われているが、それらデータを扱う留意事項について理解している人は少ない。そのためデータやAIを扱う留意事項も学習することにより、情報処理技術者としての倫理観を養うことも授業のねらいとしている。
授業科目名(英語名)	日本経営論(Japanese Businesses)
担当教員 所属	谷藤 真琴 宮古短期大学部(経営情報学科)口
授業のねらい・概要	世界情勢が目まぐるしく変化し、日本企業は新たな企業経営を見直すことに直面している。そこで、これからの日本企業の経営事情について、歴史、政治、文化、技術、市場など経営環境を踏まえながら理解を深める。また日本企業の経営の現状を海外の企業と比較しながら明らかにする。そこで日本の経営システムにおける企業の動向に着目し、経営の理論を幅広く交えながら多角的に検討する。
授業科目名(英語名)	経営学入門(Introduction to Management)
担当教員 所属	鈴木 将人 宮古短期大学部(経営情報学科)
授業のねらい・概要	経営学の基本的な考え方を概説します。経営学の歴史・企業形態・経営戦略・経営組織などに関する考え方を広く学び、これから経営学の専門科目を学んでいく上で必要となる基礎知識を身につけます。
授業科目名(英語名)	心理学(Psychology)
担当教員 所属	河野 暁子 宮古短期大学部(経営情報学科)
授業のねらい・概要	心理学は目には見えない「人の心」を探求する学問であり、その内容はとても幅が広いです。世間で流布している心理テストや占いとは違う、学問としての心理学を正しく理解することを目指します。人がなぜそのような行動をとるのか、人の心はどのように成長していくのか、ストレスと心の健康はどのように関係しているのか等々、様々な内容を取り上げ、心理学の基礎を学習していきます。
授業科目名(英語名)	アルゴリズム論(Computer Algorithms)
担当教員 所属	大志田 憲 宮古短期大学部(経営情報学科)
授業のねらい・概要	この科目は、プログラミング演習I、IIの内容をベースとし、C言語を用いた主なアルゴリズムとデータ構造について学習をする。
キーワード	アルゴリズム、データ構造、プログラミング、C言語
授業科目名(英語名)	ビジネスゲーム(Business Games and Case Studies)
担当教員 所属	谷藤 真琴 宮古短期大学部(経営情報学科)
授業のねらい・概要	企業が直面している問題、解決する能力を獲得するために、具体的な企業の事例を検討することが必要になる。そこで経営科目群等の講義を通じて学ぶ企業経営の知識を活用し、事例を用いた議論を通じて企業活動の理解を深めることを目的とする。演習の過程で必要な情報を収集し、その結果を分析し、ディスカッションすることでより理解を深める。
授業科目名(英語名)	経営統計学(Statistics for Business Management)
担当教員 所属	和川 央 宮古短期大学部(経営情報学科)
授業のねらい・概要	企業活動やビジネスの現場で合理的な意思決定を行うため、統計学の知識は重要である。授業では、統計データを誤って解釈したり、誤解を与える活用をしたりすることのないよう、統計的考え方の習得を目指す。さらに、経営データをはじめ様々な社会データを読み解くことができるよう、具体的な事例を取り上げながら、統計データを扱うために必要な統計学的知識の習得を目指す。

授業科目名(英語名)	情報リテラシー(Information Literacy)
担当教員 所属	菊池 護 宮古短期大学部(経営情報学科)
授業のねらい・概要	情報処理端末の普及により、報告書や説明資料などの文書をパソコンで作成する機会がふえている。そのため本講義では、パソコンのアプリケーションソフトとしてよく使用されている文書編集ソフト、表計算ソフトの基本的な使い方について学習する。また表計算ソフトの演習をしながら、表計算ソフトで必要となるデータリテラシー(データを読む、説明する、扱う)についても学習する。
授業科目名(英語名)	言語表現論(Several Kinds of Methods of Linguistic Expression)
担当教員 所属	田中 宣廣 宮古短期大学部(経営情報学科)
授業のねらい・概要	①言語表現理解の基本として音声言語の可視化方式について考察します。 ②日本語の地域語の実態を踏まえた言語表現の基礎的意義について考察します。 ③日本語の地域語の音声言語表現の諸要素について考察します。 ④日本語の地域語における拡張活用から音声および文字による新たな自然言語の表現について考察します。 ⑤当科目は1年次配当の「地域語の世界」の発展内容になりますが、「地域語の世界」既修者でなくても理解できるよう、構成しております。多くの学生の受講を期待します。
授業科目名(英語名)	地域言語学(The Current State of Japanese Regional Dialects)
担当教員 所属	田中 宣廣 宮古短期大学部(経営情報学科)
授業のねらい・概要	①これから社会人になって正確な日本語を操るには、その土台として、自身の使っている言語を正しく認識する能力を身につける必要があります。 ②そのために、日本語の現状を学んでおくことはとても有効です。 ③日本人が日常生活の中で使っていることばを、さまざまな面から考察してゆきます。 ④高等学校までの「国語」とはかなり趣の異なる科目です。 ⑤皆さんが普段、喜んだり、悲しんだり、怒ったり、笑ったりするときに使うことばの実態を、いろいろな角度から整理して考察してゆきます。 ⑥「言語(方言)を通して地域を理解する」のが、この科目の核心になります。
授業科目名(英語名)	経済学入門(Introduction to Economics)
担当教員 所属	雲然 祥子 宮古短期大学部(経営情報学科)
授業のねらい・概要	私たちの生活は、「経済」と密接な関係を有している。また「経済」は、世の中のしくみや社会の動向を知り、理解するための手段の一つでもある。 この授業では、経済のしくみや特徴を3つの分野(経済・金融・財政)に分けて学ぶことにする。経済では、ミクロ経済学・マクロ経済学のエッセンスについて学ぶほか、経済政策についても取り上げる。金融では、おもに日本銀行の役割や金融政策について学ぶ。さらに財政では、財政学の基本的な項目(財政の機能やしくみ、租税の概要)などについて取り上げ、考察する。
授業科目名(英語名)	OA論(Office Automation)
担当教員 所属	昇高 茂樹 宮古短期大学部(経営情報学科)
授業のねらい・概要	本講義では、OA(オフィスオートメーション)を広い意味での経営情報システムにおけるEUC(エンドユーザコンピューティング)として捉え、このEUCの仕組みを修得することを目的とする。また、経営情報学科の卒業生として期待される、「職場の情報化」に携わる者に必要な、情報関係資格に関する事項も授業で扱ったトピックスに関して解説する。また、学部の目標である「実社会に有用な知識と確かな専門技術の修得」に関連する。
授業科目名(英語名)	デジタル回路(Digital Circuit)
担当教員 所属	菊池 護 宮古短期大学部(経営情報学科)
授業のねらい・概要	デジタル回路はあらゆるデジタル機器に利用されている。パソコンにも利用されており、CPUやメモリなどにも使われている。このため、コンピュータの仕組みをより深く理解するためには、デジタル回路を理解することが重要である。このため、本講義ではデジタル回路の基本的な事項について学習する。具体的には、論理回路、論理演算、2進数、16進数などのハードウェアの理解に必要な基本的な知識を学習する。さらに、それらを応用した組み合わせ回路、順序回路などについても学習することで、ハードウェアに関する理解がソフトウェアでも有効であることを説明していく。

授業科目名(英語名)	基礎英語Ⅰ(A・B)(Basic EnglishⅠ)
担当教員 所属	三村 敬之 宮古短期大学部(経営情報学科)
授業のねらい・概要	英語の力をつけるためには、「地道に」、「時間をかけて」、「どれだけ多くの英語に触れるか」、「どれだけ多くの英語を使うか」ということが必要とされます。努力があって初めて英語の力がついていきます。この授業では、「読む」と「書く」技能を中心に、英語の基礎力を高めることをねらいとします。 授業では、各回1つの身近な話題についての英文を読むことにより、内容的に正確に把握します。また、高校までに学習した英文法について学習します。 また、ALTとの授業では、会話に必要なできるだけ平易な表現を身につけて、実際にやりとりをしていきます。その中で、異文化を理解するとともに、私たちが暮らしている日本について深く学んでいきます。 <授業の概要> (1) 90分の授業のうち、主に英文読解と英文法について学習します。 (2) 高校までで学習してきた英文法の復習と演習問題を行います。 (3) 外国人指導助手(ALT)との授業を通じて、様々な場面での表現の仕方や外国の文化・習慣を学んでいきます。
キーワード	論理的な読解、自然な翻訳、英文法、異文化理解

授業科目名(英語名)	基礎英語Ⅰ(C・D)(Basic EnglishⅠ)
担当教員 所属	大前 義幸 宮古短期大学(経営情報学科)
授業のねらい・概要	この授業では、基礎的な英文法を身につけながら英語の文章を読むことを目標とします。もちろん、すでに習得済みの英文法を復習することにもつながりますが、この授業を通して難しい英文法を身につけ、さらに英語の辞書を使用すれば、難しい英語の文章を読むことのできる力が身につきます。また、英作文に関しては習得した英文法を使い、正確な英作文を書くことができるようにも指導を行います。 <概要> (1) 90分の授業のうち、主に英文読解と英文法について学習します。 (2) 高校までで学習してきた英文法の復習と演習問題を行います。

授業科目名(英語名)	観光学概論(Introduction to Tourism Research)
担当教員 所属	雲然 祥子 宮古短期大学部(経営情報学科)
授業のねらい・概要	近年の国際情勢下において、観光がその国・地域の経済等に少なからず影響を与えていることが明らかとなりつつある。この授業では、観光というものの概要と展開を、様々な視点から幅広く学ぶとともに、国内外における観光の魅力や将来の可能性について考察する。それによって、現代を生きる私達の社会生活において、観光というものが必要不可欠な産業(事業)のひとつであることを理解する。

授業科目名(英語名)	資格英語Ⅱ(基礎)(English Language QualificationⅡ)
担当教員 所属	三村 敬之 宮古短期大学部(経営情報学科)
授業のねらい・概要	英語を学ぶことは、自分の物事に対する見方や考え方を広げ、人間性を高めることに大きく貢献します。また、英語を学ぶことで、私たちが暮らしている日本を深く学ぶことにもつながっていきます。さらに、異文化間の相互理解を深められます。 その英語の力をつけるためには、「地道に」、「時間をかけて」、「どれだけ多くの英語に触れるか」、「どれだけ多くの英語を使うか」ということが必要とされます。努力があって初めて英語の力がついていきます。 この授業では、資格英語Ⅰに引き続き、将来のTOEICテストを見据え、「読む」と「聴く」技能を中心に、総合的な英語力の向上を目指します。授業では、初中級レベルのTOEICに準拠した問題から始めて、徐々にレベルを上げ、最終的にはTOEIC 500点レベルまで学力を上げることを狙いとします。 <授業の概要> (1) この授業ではTOEICに準拠したテキストを用いて学習します。 (2) 教科書に関連する内容のリスニングを行います。 (3) 高校までで学習してきた英文法の復習と演習問題を行います。

授業科目名(英語名)	資格英語Ⅱ(応用)(English Language Qualification Ⅱ)
担当教員 所属	大前 義幸 宮古短期大学部(経営情報学科)
授業のねらい・概要	英語を学ぶことは、自分の物事に対する見方や考え方を広げ、人間性を高めることに大きく貢献します。また、英語を学ぶことで、私たちが暮らしている日本を深く学ぶことにもつながっていきます。さらに、異文化間の相互理解を深められます。 その英語の力をつけるためには、「地道に」、「時間をかけて」、「どれだけ多くの英語に触れるか」ということが必要とされます。努力があつて初めて英語の力がついていきます。 この授業では、将来のTOEICテストを見据え、「読む」と「聴く」技能を中心に、総合的な英語力の向上を目指します。授業では、初中級レベルのTOEIC Bridge準拠の問題から始めて、徐々にレベルを上げ、最終的にはTOEIC500点レベルまで学力を上げることを狙いとします。 <授業の概要> (1) この授業ではTOEICに準拠したテキストを用いて学習します。 (2) 輪読形式で英文読解を行います。 (3) 高校までで学習してきた英文法の復習と演習問題をを行います。
授業科目名(英語名)	コンピュータ概論(Introduction to Computer)
担当教員 所属	大志田 憲 宮古短期大学部(経営情報学科)
授業のねらい・概要	職場、学校、家庭でも当たり前のようにコンピュータが使われています。パソコン等のコンピュータは、内部にあるCPUやメモリ、モニターやキーボード、プリンタなどのハードウェアと、それらを動かすためのOS(オペレーティングシステム)とアプリケーションソフトウェアにて構成されています。様々な用途にコンピュータは使われていますが、その用途に応じたハードウェア、ソフトウェアが動くことによって皆さんはコンピュータを利用できています。ゲーム機やスマートフォンなども同様です。この講義では、コンピュータを構成するハードウェアとソフトウェアについて基礎的な理解を深めていきます。情報科学分野、コンピュータについて学ぶ上での基礎となる科目です。
授業科目名(英語名)	会計学(Accounting)
担当教員 所属	松本 安司 宮古短期大学部
授業のねらい・概要	企業会計の目的を理解し、その目的と関連付けて財務諸表の基本構造を理解することを主目的とします。また、ほぼ毎回、会計を知っていればより理解が深まるニュースを紹介し、会計を学ぶ動機付けを心がけるとともに、企業行動の理解に会計からの観点を持ってもらえるようにします。
授業科目名(英語名)	基礎簿記論(Basic theory of bookkeeping)
担当教員 所属	松本 安司 宮古短期大学部
授業のねらい・概要	会計情報作成の基本的知識として簿記の知識が必要です。本講義では簿記の初学者を対象に、特に簿記の基本であり根本である仕訳を中心に講義および問題演習を行います。この講義により会計情報作成の基本的枠組みが理解できるとともに、日商簿記3級の足固めとなります。
授業科目名(英語名)	システム演習Ⅱ(System Practice Ⅱ)
担当教員 所属	鼻高 茂樹 宮古短期大学部(経営情報学科)
授業のねらい・概要	コンピュータシステムは現代社会に必要不可欠なものとなっています。本講義では、コンピュータシステムを構成するLinuxサーバを構築、管理の基礎を習得していくことを目的としています。将来、情報系の企業などでサーバ関連の仕事や情報系の大学に進学予定のものにとって必要な基礎知識となります。また、学部の目的である「情報の取捨選択能力と活用能力」に関連します。
授業科目名(英語名)	経営組織論(Organization Studies)
担当教員 所属	鈴木 将人 宮古短期大学部(経営情報学科)
授業のねらい・概要	私たちの生活と組織は密接なかかわりがあります。たとえば、学校、アルバイト先、行政組織といったものや企業が作り出した製品・サービスを利用するなど、さまざまな組織と関係があります。本授業では、そうした組織に関する概念・理論を学び、組織について考えていきます。授業では、主に組織理論やマクロ組織論と呼ばれる分野と組織行動論やミクロ組織論と呼ばれる分野を扱う予定です。

授業科目名(英語名)	総合英語 I (Integrated English I)
担当教員 所属	三村 敬之 非常勤講師
授業のねらい・概要	<p>グローバル化が進んでいる現代社会では、英語は英語圏のみならず世界中で用いられている国際語です。日本でも英語コミュニケーションの素養があれば仕事や研究活動に非常に役立ちます。英語によるコミュニケーション能力を育成するのが、本講義の狙いです。</p> <p>この講義では、これまでの1年生の英語の授業で培った英語の四技能と呼ばれるリスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの能力を更に高めしていくことを目標とします。また、外国人教師の授業を通じ、英語という言葉以外にも、英語圏の文化や習慣にも触れていきます。</p>

授業科目名(英語名)	データベース演習(DataBase)
担当教員 所属	菊池 護 宮古短期大学部(経営情報学科)
授業のねらい・概要	<p>データベースとは、複数のデータを集約し、それらのデータを有効活用することができるシステムを指す。データベースを活用することで大量のデータの管理、検索、集約などを行うことができる。そのためDX(デジタルトランスフォーメーション)が求められている現在では、データベースの活用技術は非常に重要となっている。そのため演習を通じてデータベースに関する知識および基本的な操作を学び、それらを活用してデータベースの設計を行い実践力を養う。具体的には、データベースの基本構造、SQL操作、正規化、設計方法の演習を行う</p>